

福島第一 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約：10/27)

採取場所	2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央西向)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央北向)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル下部)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	装置不具合により欠測		平成23年10月25日 10時31分～12時31分		平成23年10月25日 10時31分～12時31分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	-	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	-	-	1.8E-05	0.01	2.0E-05	0.01	2E-03
Cs-137 (約30年)	-	-	2.2E-05	0.01	1.9E-05	0.01	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

1E- とは、1.0 × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約9E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。